

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	一宮医療療育センター 保育所等訪問支援部門		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2026年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2026年 3月 19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	より専門性の視点から子どもの特性や発達段階に応じた支援ができること。	子どもを取り巻く関係各署の支援者や保護者との情報共有を密接にし、対象となるお子様が楽しく有意義な集団での生活が送れるよう支援している。 専門性を持った訪問支援員を訪問させることで、訪問先の相談にも専門性を生かした助言をするよう努めている。	事業にかかわるスタッフの質の向上(実際に必要な知識技術の習得)に努める。 保護者、関係各署と情報共有や相談を丁寧に行い、密接な連携を図る。 訪問先の複数の担当者との情報共有を心掛ける。
2	子どものことを子どもの特性に応じた専門性のある支援体制。	発達特性を持つ子どもに専門的知識を持った、作業療法士、言語聴覚士を訪問支援員として配置している。個別訓練で習得を目標にしていることが日常生活の場でも汎化できるような視点で、訪問先での支援、情報共有を行っている。医療との連携に注力している。	生活の場で生かすことのできる具体的な支援方法をわかりやすく提供していく。保護者、支援者を相談、話しやすい雰囲気に対応する。医療と保育・教育との連携も充実していく。
3	子ども、家族からの申し出、相談に丁寧に対応し、訪問先施設等関係各署と密接な連携の上支援できること。	支援内容について、保護者にもわかりやすく丁寧に説明し理解を得ている。家庭訪問等ではしっかりと時間を取り、日々の困り事を丁寧に聞くとともに、発達特性など知識もとに助言をするよう努めている。	子ども、保護者が安心して相談できる環境を作る。 訪問先とは迅速に情報共有できるような関係性を構築していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信できていない。	対面または電話を利用した情報共有、連絡体制は十分できている。 ホームページを利用した具体的な活動概要の発信が不十分で、SNSを利用した連絡体制の整備に至っていない。	具体的な活動内容は、ホームページや通信にて発信していく。 SNS等を利用した連絡体制については、情報倫理やリスク管理等を含め運用について、知識を得、検討していく。
2	保護者会等の開催等により、保護者同士で交流する機会を設けるなどの支援ができていない。家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っていない。	支援先が多方面にわたることで保護者同士の交流機会やその情報提供に至っていない。	法人内関係部署を連携し、家族支援に関する情報提供、保護者同士の交流について模索していく。
3	事故防止、緊急時対応、感染症対応マニュアル等の家族等への周知、また緊急時の対応について訪問先施設と連携・実践準備に弱さがある。	対象のお子様についての情報共有や連携はできているが、マニュアル等の周知や緊急時対応について訪問先との連携が弱い。	緊急時対応について、訪問先とより情報交換を進める。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 一宮医療療育センター 保育所等訪問支援部門

公表日 2026年 3月 27日

利用児童数

8

回収数

8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6			2		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	8					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	8					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	8					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	8					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	8					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	8					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	8					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6	1		1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	8					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	8					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	8					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	8					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	2		2	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	7	1			
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1			
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8				
	28	事業所の支援に満足していますか。	8				とても満足しています。また、お願いしたいです。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

一宮医療療育センター 保育所等訪問支援部門

公表日 2026年 3月 27日

利用児童数 8 回収数 8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	1		具体的に伝えられ、わかりやすかった。 提案事項も明確で適切です。 担任のみのフィードバックが多く、園内で共有が不十分なことがあった。	担任および管理者の先生との情報共有に留意していきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7	1		様々な面での悩みごとに対し、的確なアドバイスがあり、助かった。 試してダメなときは一緒に考えてくれ助かった。 専門知識を持っているので安心できる。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8			質問については真摯に回答された。 困っているところを実際見ていただき、アドバイスを実践に結び付けている。 現場の状況を理解し回答いただけるので、負担なく話が聞けた。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8			助言を取り入れることで、困りごとが減った。 継続的な支援のため、対象児・学校の状況を理解し支援を考えることができ助かった。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	7	1		対象児に変化があり満足。 専門的アドバイスをいただき勉強になった。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
短い時間でよいので、主査、園長を含め、フィードバックがあるとよい。複数職員にて共有できるとよい。 専門的な目で保育をみられることに緊張したが、相談できてよかった。 訪問回数を増やせるとよい。 保護者支援の面でも助かった。 訪問支援員が来ることで、対象児がいつもとは違う顔を見せる場面もあったので、見学・支援の方法も時に検討することもありかと感じた。					情報共有については、担任の先生のみでなく、上長の先生や支援の先生を含めできるように配慮していきます。 訪問日程や訪問先での訪問者の動きについては、対象児にできるだけ影響がないよう、普段の姿が見られるように、訪問先と相談しながら、進めていきます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	一宮医療療育センター 保育所等訪問支援部門		公表日	2026年 3月 27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4	0		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	4	0	日々の業務の中で、情報共有を心掛けている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	4	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	3	1		評価で挙げられた課題について、検討し業務 改善につなげていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	4	0	他支援者との情報交換を心がけている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	療育センターリハビリ担当との情報共有、主 治医へ訪問支援時の報告に努めている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	訪問先の担当者とは密な連絡をしている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4	0		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	4	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	4	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	4	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	4	0			

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	2	適切な外部研修の提示が必要。	さらに積極的に外部研修を進めていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2		スタッフの代表者が参加しています。内容は共有していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	保護者交流に関する情報提供が少ない。個々への支援で精一杯。	個々に対する支援が中心のため、今後交流の場等の機会に参画できるよう検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2		コンプライアンスに留意しSNS、HPの活用を検討していきます。	
訪問先施設への	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0		

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		安全管理が十分行えるよう研修等進めます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		保育所等訪問支援における身体拘束の位置づけについて十分な説明ができるよう理解を深めます。